

事務事業評価表 平成22年度

政策 安全で快適な都市生活の充実  
 施策 交通環境の充実  
 基本事業 安全で快適な道路づくり

事業名 **兵村4丁目通り道路工事**

[0267]

部名	建設部	事業開始年度	平成16年度	実施計画事業認定	非対象
課名	都市建設課	事業終了年度	平成21年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	(誰、何に対して事業を行うのか) 兵村4丁目通り
意図	(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) 道路利用者が安全で快適に通行できる交通環境を確保するとともに、人に優しい歩行者空間を確保する。
手段	(事務事業の内容、やり方、手段) 兵村2番通りから兵村4番通り間の延長750mの区間で歩道の拡幅、車道の拡幅整備を行う

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度当初
対象指標1	整備対象延長	m	750	750	750	
対象指標2						
活動指標1	当該年度整備延長	m	187	62	320	
活動指標2						
成果指標1	延べ整備延長	m	368	430	750	
成果指標2	事故発生件数(把握困難)					
単位コスト指標						
事業費計(A)		千円	34,397	34,563	42,375	0
正職員人件費(B)		千円	3,768	5,433	11,617	0
<b>総事業費(A)+ (B)</b>		<b>千円</b>	<b>38,165</b>	<b>39,996</b>	<b>53,992</b>	<b>0</b>

費用内訳	
21年度	委託料 977千円、工事請負費 39,606千円、公有財産購入費 574千円、補償、補填及び賠償金 1,219千円

## 事業を取り巻く環境変化

事業開始背景	本路線は中学校の通学路であり、国道12号と工業団地を結ぶ幹線道路として交通量も増加しており、歩行者の安全確保の観点から早急に歩道整備を図る必要があるため。	事業を取り巻く環境変化	
--------	---	-------------	--

## 21年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

義務的事務事業  
妥当である  
妥当性が低い

理由・  
根拠は？

道路管理者である市が実施することが妥当であるため。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい  
貢献度ふつう  
貢献度小さい  
基礎的事務事業

理由・  
根拠は？

本路線は、国道12号線より工業団地を結ぶ幹線であり、又、第3中学校の通学路に指定されており、現況歩道は狭く交通量の増加により歩行者が危険な状態であることから改修により道路利用者が安全で快適に通行できる歩行者空間が確保できるので貢献度は大きい。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由、でていない理由は何ですか？

あがっている  
どちらかといえばあがっている  
あがらない

理由・  
根拠は？

計画に沿った整備が進められているため。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大  
成果向上余地 中  
成果向上余地 小・なし

理由・  
根拠は？

短期間で道路整備を行うことにより、安全で快適な歩行者空間が確保できるため。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算 + 所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

ある  
ない

理由・  
根拠は？

北海道積算システムの導入により事務処理の迅速化を図っており、また、設計単価等についても統一単価を使用しており削減は難しい。